

単元名 Unit 11 This Year's Memories

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) be動詞の過去形や過去進行形, There is [are]…を用いた文の形・意味・用法を理解することができる。また, be動詞の過去形を用いて, 一年の思い出について, 過去の状態や気持ちを尋ねたり答えたり, 過去進行形を用いて, 過去のある時点にしていたことについて, 理解したり伝えたり, There is [are]…の文などを用いて自分の町にある施設について尋ね合い説明することができる。
- (2) 一年の思い出を残すために, 過去の状態や気持ち, 過去のある時点にしていたことについて書かれた文章を聞いたり読んだりして, 情報を捉えたり, 伝えあったりすることができる。また, 自分の町を紹介するために, 町の施設について, 簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりすることができる。
- (3) 一年の思い出を残すために, 過去の状態や気持ち, 過去のある時点にしていたことについて, 簡単な語句や文を用いて伝え合ったり書いたりしようとする。また, 自分の町を紹介するために町の施設について, 簡単な語句や文を用いて説明しようとする。

標準的な展開例

10250302_001

【準備等】 デジタル教科書, 電子黒板, タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 Starting Out 一年の思い出を振り返り, 単元全体の概要を学習する。 ★一年の思い出を振り返り, 自分たちがしたことを尋ね合ったり聞き取ったりしよう。 ○単元の最後に日記で思い出を残すことを伝える。</p> <p>○ Warm-upを行う。</p> <p>○ Enjoy Listeningを行う。</p> <p>○ Previewを行う。</p> <p>2 Story1 会話を聞いて, 過去の状態や気持ちの伝え方を学習する。 ★一年の思い出を伝え合うために, 過去の状態や気持ちを尋ねたり答えたりしよう。 ○ Teacher's Talk を聞き, 質問に答える。</p> <p>○ 本文と質問を聞き, 問題に答える。</p> <p>○ 本文の学習をする。</p> <p>○ be動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を知る。</p> <p>○ 基本表現の学習をする。 ○ Practiceに取り組む。 ○ 書く活動に取り組む。</p> <p>3 Story2 会話を聞いて, 新しい話題を始めるために, 「…がある」と尋ねたり答えたりする方法を学習する。 ★新しい話題を始めるために, 「…がある」と尋ねたり答えたりしよう。 ○ Teacher's Talk を聞き, 質問に答える。</p> <p>○ 本文と質問を聞き, 問題に答える。</p> <p>○ 本文の学習をする。</p>	<p>・ pl15のUnit Activityを見せ, 単元最後の目標を意識させる。</p> <p>・ 単元のループリック表などを作成して配布し評価の基準を事前に伝え, 見通しをもって単元の学習をするように促す。</p> <p>・ 巻末の資料を参考にして, ペアで英語で話し合わせる。</p> <p>・ 話し合ったことを表にまとめさせる。</p> <p>【評】 海斗とジョシュが話していることを聞き取る取組を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 一年間の出来事について, どのようなことを話しているかを話し合わせ, 次回の予告として紹介する。</p> <p>・ 教師の英語での本文説明を聞いて概要を掴ませる。</p> <p>・ 画像やジェスチャーを使用して視覚的に内容を掴めるよう工夫する。</p> <p>・ 閉本した状態でリスニングをさせ, 海斗の一年の思い出を聞き取らせ, ペアで聞き取れたことを確認させる。</p> <p>・ 個人で黙読させた後, ペアで内容確認を行わせる。</p> <p>・ 教師が質問をし, 生徒に内容を答えさせることで本文の概要を掴む。</p> <p>・ Key Sentenceを見せ, 日本語でbe動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を確認する。</p> <p>・ 基本表現を本文で確認する。</p> <p>・ Practiceを行い, 基本文の定着を図る。</p> <p>・ 昨日の天気についてペアで話し合い, ノートに書く。</p> <p>【評】 昨日の天気について話したり書いたりする活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 教師の英語での本文説明を聞いて概要を掴ませる。</p> <p>・ 画像やジェスチャーを使用して視覚的に内容を掴めるよう工夫する。</p> <p>・ 閉本した状態でリスニングをさせ, さくら湖の周辺には何があるかを聞き取らせ, ペアで聞き取れたことを確認させる。</p> <p>・ 個人で黙読させた後, ペアで内容確認を行わせる。</p> <p>・ 教師が質問をし, 生徒に内容を答えさせるこ</p>

○ There is [are] … の文の形・意味・用法を知る。

○ 基本表現の学習をする。

○ Practiceに取り組む。

○ 書く活動に取り組む。

4 Mini Activity 学習事項を用いて、自分の街にある施設を尋ねたり答えたりする活動を行う。

★地域の発展のために、自分の街にある施設の紹介文を英語で作ろう。

○ Listenを行う。

○ Speak & Writeを行う。

○ 学校の周りがある施設をペアで協力してたくさん出し、3分間でいくつ出せたかを他のペアと競い合う。

○ 出せた施設を、基本表現を用いてノートにまとめる。

○ ALTの先生や自分の町を訪れた外国の人のために、自分の街を紹介する文を書く。

5 Story3 会話を聞いて、過去のある時点にしていたことを伝える表現を学習する。

★過去のある時点にしていたことを伝えよう。

○ Teacher's Talk を聞き、質問に答える。

○ 本文と質問を聞き、問題に答える。

○ 本文の学習をする。

○ 過去進行形を用いた文の形・意味・用法を知る。

○ 基本表現の学習をする。

○ Practiceに取り組む。

○ 書く活動に取り組む。

6 Unit Activity 日記で思い出を残そう。

★体験したことや感じたことを日記として残そう。

○ 前の日曜日にしていたことを尋ね合う。

○ 内容について尋ね合う。

○ 日記の書き方を学習する。

○ 日記を書く。

○ 完成された日記を、ペアやグループで読み合い、コメントを書き合う。

○ ルーブリック表を基に振り返りをする。

とで本文の概要を掴む。

・ Key Sentenceを見せ、There is [are] … の文の形・意味・用法を確認する。

・ 基本表現が本文のどこで使われているかを確認する。

・ Practiceを行い、基本文の定着を図る。

・ 外国の友達に、学校の近くにあるものを探る文を言ったり書いたりする。

【評】外国の友達に、学校の近くにあるものを探る文を言ったり書いたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・ 学習事項の確認として文法を意識させる。

・ 教師が自分の地元の施設について話したり、学校の周りの施設について全体に尋ねたりして活動の見本を示す。

・ 質問から始めて1分間ペアで話し合わせる。

・ ペアで話した内容について書き取らせる。

・ 忘れた場合はもう一度英語で聞く時間を与える。

・ どのペアが一番多くの施設を出せたかを口頭で確認し、全体で共有する。

・ ALTの先生や自分の町を訪れた外国の人のための、地域の施設の紹介文を書かせる。

・ 施設を訪れる利点を必ず一つ以上含めて書かせる。

【評】町の施設の紹介文を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・ 教師の英語での本文説明を聞いて概要を掴ませる。

・ 画像やジェスチャーを使用して視覚的に内容を掴めるよう工夫する。

・ 閉本した状態でリスニングをさせ、昼食時に海斗が何を行っていたのかを聞き取らせ、ペアで聞き取れたことを確認させる。

・ 個人で黙読させた後、ペアで内容確認を行わせる。

・ 教師が質問をし、生徒に内容を答えさせることで本文の概要を掴む。

・ 登校初日のメグの様子を日本語で尋ねる。

・ Key Sentenceを見せ、日本語で過去進行形を用いた文の形・意味・用法を確認する。

・ 基本表現が本文のどこで使われているかを確認する。

・ Practiceを行い、基本文の定着を図る。

・ 教師が電子黒板に昨日の昼1時頃の先生たちの様子を写真で提示し、何をしていたのかをペアで言い合い、ノートに書かせる。

【評】昨日の昼1時ごろの先生たちが行っていたことを話したり書いたりする活動を通して「知識・技能」を評価する。

・ 若あゆ日記などを参考に、行ったことを時系列で思い出させる。

・ それぞれが思い出した内容について、1分間でスモールトークとして尋ね合わせる。

・ 日記の型を伝える。

・ 巻末の資料を活用して、書きたいことをマインドマップ等の思考ツールを活用してまとめさせる。

・ 実際に前の日曜日の出来事を書かせる。

【評】日記への取組を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・ 各自、ルーブリック表を基に自己評価をさせる。

【評】日記の内容を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

授業内で効果的にタブレットやQRコードを活用する場面を設定する。宿題や家庭学習等でそれらを効果的に活用するように促す。

各授業の帯活動として、p100を利用した会話練習を「スモールトーク」として定期的に行っていき、英語を言語として使用することに慣れさせていきたい。

各Story最後の書く活動では、タブレットで書かせた答えを教師用タブレットに提出させ、全員分を提示しながら添削していくとよい。

今後の授業の導入時に行うスモールトークのテーマの一つとして、“What did you do yesterday?”を入れておくと、生徒は毎日日記を書くことによって、授業でも活用できることを実感する。そのような工夫をすることで日記を自主的に継続させ、自然に定着させていきたい。